

◇平成10年1月

とどろ大橋が完成

轟町と時吉を結ぶ竹の町らしいデザインが取り入れられた「とどろ大橋」が完成した。

国道267号と504号を結び、宮都大橋付近の交通渋滞解消はもとより出水市から空港までの重要な幹線道路として大きな役割を担うことが期待された。

◇平成11年4月

さつま東部環境センターが稼働

最新の処理技術により周辺環境の保全にも万全を期し、1日に71kg処理できる、し尿処理場「さつま東部環境センター」が稼働を始めた。

◇平成12年11月

山崎小学校校舎が完成

本町の南の玄関口にふさわしい学校として、8角型の特別教室棟や木材をふんだんに取り入れた心やすらぐ室内、広々としたオープンスペースなどを備えた、モダンな造りの山崎小学校校舎が完成した。

◇平成13年9月

知事と語る ふるさと座談会

県民と響きあう県政の推進の一環として「知事と語る ふるさと座談会」が宮之城ひまわり館で開催され、知事との意見交換が行われた。

会では、農業振興や県立公園などの公共工事、市町村合併などについて多くの意見が出された。

◇平成13年12月

地域情報ネットワーク

システムが稼働

「地域情報化基本計画」を策定し、その計画に沿って準備を進めてきた地域情報ネットワークシステムの運用を開始した。

この運用開始により、自宅などのパソコンで町の施設の申込みや申請書の記入ができるなど、電子自治体化がさらに進んだ。

◇平成14年4月

北薩広域公園が一部開園

平成8年から工事が始まった北薩広域公園の「ふるさとゾーン」が開園した。

「ふるさとゾーン」は、北薩の暮らしや伝統を遊びながら体験できる施設で、体験工房のほか九州内でも屈指の大型冒険遊具や温泉付のバンガロー、オートキャンプ場などが整備された。また、地元食材を活かした郷土料理を提供するレストランや特産品を販売する売店も整備された。

◇平成14年10月

宮之城ちくりん館オープン

川内川と轟の瀬を展望できる景勝地に「宮之城ちくりん館」がオープンした。

本町の農林産物や加工品の販売、パン・アイスクリーム・ジュースや食事など新鮮で良質な食材の提供ができる設備が整備された。

◇平成15年4月

一ツ木地区に水道施設完成

一ツ木地区に待望の水道施設が完成し、これまでの水不足や水質など、水に対する不安が解消され「安全でおいしい水」が飲めるようになった。

◇平成16年4月

せせらぎの郷二渡オープン

地元の新鮮な野菜や季節感あふれる食材を提供し、町内外との交流の拠点施設として、「せせらぎの郷二渡」がオープンした。

◇平成16年6月

合併協定調印式

宮之城町、鶴田町、薩摩町の合併協定調印式が鶴田町中央公民館で盛大に挙行された。

調印式には、特別立会人として須賀知事も出席のもと、3町の町長がこれまで協議してきた46項目からなる合併協定書の調印を行った。そして、3町長と須賀知事が、がっちり手を取り合い「さつま町」誕生への強い決意を表された。

◇平成16年7月

薩摩中央高等学校が設置

宮之城高校と宮之城農業高校を発展的に統合し、来春開校する「薩摩中央高等学校」が宮之城農業高校敷地内に設置された。

校札除幕式では、関係者による新しい校札の除幕が行われ、また学校設置式では、校名に募集された方の中から抽選で選ばれた5人に感謝状と記念品が贈られた。



「さつま東部環境センター」